

●今月の法語カレンダー●  
弥陀の本願  
信ずべし

今月は親鸞聖人が85、6歳の時に書かれた「正像末和讃」の冠頭の一首です。弥陀の本願信ずべし。本願信ずるひとはみな無上覚をばさとするなり。「撰取不捨の利益にて」とは、阿弥陀如来の大悲のお心により、私が光明の中に撰め取られていることが示されます。今光明の中に喜ぶ、お念仏申しお聴聞を重ねてこそ知らされるのでしよう。真実のよろこびに目覚めた人生を送りたいものです。

11月の行事

- 朝の日曜礼拝 午前7時  
お参り・御文章・7分法話
- 2/9/16/23/30日
- おかげさま報恩講  
(親鸞聖人のご命日法要)
- 23日(日) 勤労感謝の日  
午前10時〜「入門式」  
午後1時半〜「報恩講」
- おみがき(お寺の大掃除)  
1日(土) 午前10時
- 納骨堂合同参拝  
8日(土) 午前10時  
(行事の為日が異なります)
- 婦人会 13日(木)
- 築地本願寺「報恩講」参拝
- 壮年会・婦人会合同法座  
29日(土) 午後3時
- アニメ「親鸞さま」上映会  
●ポラン寺(寺報送作業)  
28日(金) 午前9時
- 雅楽教室  
22日(土) 午後3時

おかげさま「報恩講」

「報恩講」は、浄土真宗の門徒である私たちにとって、最も大切な法要です。阿弥陀さまのお徳を説き、お念仏のみ教えをいのちがけで伝えて下さった宗祖親鸞聖人のご苦勞を偲び、「おかげさまの心」を聞かせていただきます。今を生かされている尊さ、喜びをともにし、手を合わせることといたしましょう。ぜひご家族そろって、お参りください。ご参詣、心よりお待ちしております。

【日時】 11月23日(日) 勤労感謝の日

- 午前10時半 受付
- 午前11時 門信徒会入門式  
「天真寺門徒式章」『浄土真宗必携』贈呈  
集合写真の記念撮影があります
- 午後12時 お齋(昼食)
- 午後12時半 受付
- 午後12時45分 雅楽ミニコンサート  
法要出勤の僧侶による雅楽の演奏です  
どうぞ雅な音色をお楽しみ下さい♪  
曲目「越殿楽」「ふるさと」など
- 午後1時半 おかげさま「報恩講」  
法要・ご法話 一緒にお参りいたしましょう
- 午後3時半 茶話会



(昨年のコンサートの様子)

【講師】 本願寺派布教使  
本多 静芳 師 (東京)

浄土真宗本願寺派万行寺住職。現在、アユス仏教国際協力ネットワーク理事、東洋大学講師、東京仏教学院講師。著書に『いのち、みえるとき』(法蔵館)『歎異抄に学ぶ大乘仏教入門』(国書刊行会)等。

●ヨーガ教室 午後12時半  
12/26日(水)  
行事はすべて参加自由です  
どうぞお参りください

12月の行事

- 仏教講座会
- 門信徒忘年会 20日(土)
- 写経会 20日(土)
- 納骨堂合同参拝 6日(土)
- 壮年会 27日(土)
- ポラン寺 26日(金)
- 築地「成道会」 8日(月)

婦人会「築地本願寺」  
報恩講参拝のお誘い

11月13日(木) 東京  
教区仏教婦人連盟団体参拝に参加します。参拝希望の方は、5日までにお寺へご連絡下さい。  
【集合】  
午前10時松戸駅改札口  
【懇志】2000円  
(昼食付、1000円補助)

ご協力ください

23日(日)に迎える「報恩講」の準備として、年に一度の「おみがき」(お寺の大掃除)を行います。多くの方の手伝いが必要となりますので、ぜひご参加を予定いただきたくお願い致します。例年男性の数が少ないので、ご協力下さい。  
汚れてもいい服装でおいでください。昼食は準備があります。



おみがき(お寺の大掃除)  
11月1日(土)  
午前10時〜午後3時

また午後2時〜「ふれあい農園」で、芋掘りをします。壮年会の方が育てて下さいました。「報恩講」のお齋で皆さんといただく予定です。  
きれいなようになった本堂で「報恩講」を迎えましょう



### 「報恩講」MEMO

■「門信徒会入門式」は、H19年11月（H20年10月）での入会の各家に案内を送付しております。皆さまには、ご出席いただけますようお願い申し上げます。20日までに返信下さい。

■門信徒会、ならびに婦人会、壮年会の役員の皆さまには、午前10時にお集まりください。

22日（前日）に、お齋（昼食）の準備をします。お手伝いいただける方は、午後1時にお寺にお集まりください。

役員の皆さまには、よろしくお願い致します。

■法要には、「天真寺雅楽会」のメンバーが演奏に加わります。弘山先生にご指導をいただき、一年のお稽古を積んできました。どうぞ楽しみにお参り下さい。

壮年会・婦人会 合同法座

## 「親鸞さま」本堂にて上映会

11月29日(土) 午後3時～5時半 DVD108分(休憩あり)

今だから感じてほしい、750年前からのメッセージ。親鸞聖人750回大遠忌記念作品、アニメで見る親鸞さまを上映します。どなたでもお越し下さい。終了後30分は茶話会で話し合法座。



## ハンセン病施設を訪ねて

先月、多摩全生園、そして国立ハンセン病資料館を訪れました。



この度は、真宗会館にてお勤めをさせていただき、真宗大谷派僧侶酒井先生よりハンセン病の実情を聞き、園内をご案内いただきました。ハンセン病の患者は、人間として生きる権利も自由も奪われました。こんな現実があるのかと、聞くに堪えない話ばかりでした。そこには、人間の犯してきた差別・偏見の末に多くの命が悲しい人生を送ることを余儀なくされてきた歴史があることを知りました。

かぜもないのにほろほろとだいちのうえにかえりゆくはなをみつめてなみだしたしんらんさまはなつかしいまづしきものてをとりに

われもさびしきぼんぶぞとだいちのうえにひれふしたしんらんさまはなつかしい

訪問の折、右記の歌を知りました。(1、6番の歌詞のみ紹介) 親鸞聖人を懐かしむ歌であります。つらい状況下で、「私親鸞も、いのちの光を見失ってしまう凡夫。その私を照らし続ける仏さまの願いを一緒に聞かせていただく」と示された聖人の御同朋の世界、ともに歩んでいく道に出遇われたのです。「二人じゃないんだ、大悲のおこころで一緒に悲しんでくださっているぞ」と、仏さまの願いを聞きながら、苦しみを乗り越えていかれた方々の思いが言葉となった歌なのです。酒井先生は「浄土真宗とは人間であることを回復する道」と仰っていました。

ハンセン病による差別や偏見で苦しんでいる方々のことを思うと、私が私らしく、あなたがあなたらしく

## 親鸞聖人の生涯

1173年5月21日、京都の東南、日野の里にご誕生。藤原氏の一門で、幼名は若松丸と伝えられます。9歳で京都の青蓮院において出家得度し、比叡山にのぼられました。聖人は比叡山で20年にわたり、学問と修行に励まれるも、さとりの道を真剣に悩みぬかれ、夢の中のお告げから法然上人のもとを訪ねました。この出遇いによって、聖人は専修念仏の他力浄土門の道を歩き始めます。聖人が29歳の時でした。

幼い時に両親と別離して出家、比叡山における厳しい修学、苦悩の中での法然上人との出遇いと他力浄土門への帰入、恵信尼さまとのご結婚、国家権力による不条理な流罪、非僧非俗(流罪により還俗させられたこと)の生活、関東における伝道、帰洛



生きていく世界を築いていくことが、僧侶として私のこれからの使命だろうと実感しました。(副住職 龍哉)

## お礼申し上げます

◇秋彼岸にご講師の松林宗恵監督に植樹いただいた「被爆クスノキ」。和泉家石材店さんより、由来を書いた石碑を寄贈いただきました。



◇門信徒の木内元恵さん(常盤平)より、滝を描いた墨絵を寄贈いただきました。正面玄関に飾っております。

## 天真寺の墓地 「大町やすらぎパーク」

北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。ご希望の方はお寺までご相談下さい。現在「永代合葬墓」を計画中です。



## 天ちゃんの一言



境内地が広がったおかげで、「ふれあい農園」のなかに大きな柿の木が増えました。伸びた枝は、壮年会の小林さんと太田さんがきれいに剪定して下さいました。残念ながら渋柿ですが、渋抜きをしておいしくいただきました。最近温暖化の影響で、干し柿作りは難しいようです。



**門信徒会入会のご案内**  
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。「寺友」の輪を広げませんか。

### （発行元）

浄土真宗本願寺派 天真寺  
千葉県松戸市金ヶ作106  
047-389-0808  
【ホームページ】  
<http://www.tenshi.or.jp/>